

長野県新総合交通ビジョン検討委員会（長野地域・意見交換会） 議事要旨

- 1 日 時 平成 24 年 5 月 31 日（木）午前 10 時 45 分～12 時 30 分
- 2 場 所 ホテルメトロポリタン長野（3F 浅間）
- 3 出席者 （敬称略、順不同）：27 名

【地元市町村長】

氏 名	所 属 等
ワシザワ ショウイチ 鷲澤 正一	長野市長
ミキ マサオ 三木 正夫	須坂市長
コンドウ セイイチロウ 近藤 清一郎	千曲市長
ヤマムラ ヒロシ 山村 弘	坂城町長
アセガミ トシハル 畔上 敏春	小布施町地域創生部門地域整備グループリーダー（小布施町長代理）
クボタ カツシ 久保田 勝士	高山村長
アイザワ リュウスケ 相澤 龍 右	飯綱町長
イトウ ヒロフミ 伊藤 博文	小川村長

【検討委員】

氏 名	所 属 等
クロカワ タケシ 黒川 洸	一般財団法人 計量計画研究所 代表理事
アオキ マミ 青木 真美	同志社大学商学部 教授
スズキ フミヒコ 鈴木 文彦	交通ジャーナリスト
タカセ タツオ 高瀬 達夫	信州大学工学部 准教授
ミズモト マサトシ 水本 正俊	社団法人 長野県経営者協会 専務理事

【オブザーバー】

氏 名	所 属 等
タカハシ ツネオ 高橋 恒男	国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局長 （国土交通省 北陸信越運輸局 企画観光部長代理）

ヤナギヤ 柳谷	サトシ 哲	国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所長 (国土交通省 関東地方整備局 企画部長代理)
オンダ 恩田	ミツル 充	国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画課長補佐 (国土交通省 中部地方整備局 企画部長代理)

【説明者】

氏名	所属等	
カラサワ 唐沢	シノブ 忍	長野地方事務所 地域政策課 課長補佐兼企画振興係長
ヤバナ 矢花	ヒサリ 久則	千曲建設事務所 道路維持管理課長
クルミ 胡桃	トシナリ 敏成	長野建設事務所 計画調査課
コヤマ 小山	ヨシヒコ 善彦	須坂建設事務所 整備課 計画調査係
フルタ 古田	ヤスヒサ 恭久	長野保健福祉事務所副所長

【事務局】

氏名	所属等	
ホッタ 堀田	フミオ 文雄	長野県 企画部 交通政策課長
ワタナベ 渡辺	タカヒデ 高秀	長野県 企画部 交通政策課 課長補佐
ホソカワ 細川	ヤスシ 康	長野県 企画部 交通政策課 課長補佐兼交通企画係長
ウツノミヤ 宇都宮	キヨシ 純	長野県 企画部 交通政策課 課長補佐兼空港活性化係長
イシダ 石田	ヨシノリ 喜則	長野県 企画部 リニア推進振興室 リニア推進主幹
ミズマ 水間	タケキ 武樹	長野県 建設部 道路建設課 企画幹兼計画調整係長

4 黒川委員長あいさつ要旨

本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。みなさまご存知のようにこの委員会では、阿部知事から15年後の先を見据えた交通ビジョンを今年度中に作れということを示唆いただいております。みなさまにお集まりいただき地域の課題などをお聞きしているところでございますので、是非、ご忌憚のないご意見を賜りますよう宜しくお願いいたします。

5 会議事項

(1) 管内の概況について

ア 長野地域の概況について

資料1に基づき、唐沢長野地方事務所地域政策課課長補佐から説明があった。

イ 長野国道事務所管内の概況について

資料2に基づき、柳谷長野国道事務所長から説明があった。

ウ 長野地域の道路整備状況について

資料3に基づき、胡桃長野建設事務所計画調査課担当係長から説明があった。

(2) 意見交換

以下のとおり、出席者による意見交換が行なわれた。

(鷲沢 長野市長)

[\(資料のICカード導入について\)](#)パスモやスイカを全国でやって欲しい。長野市で共通ICカード「くるる」が始まるが、どんな効果が出るか確認したい。

大量輸送ということで、南信(リニア中央新幹線)の話もあるが、それ以外に2次交通をしっかりとやって欲しい。上手くやることで、環境問題も改善することになる。

住民も高齢化で自動車が運転できなくなる。行政の仕事で、駐車場を整備しているが、駐車場を増やすと車も増える。2次交通をしっかりとやることが必要。

しなの鉄道等の利用者を増やすにも2次交通しっかりとすることが必要。宿泊を増やすにも2次交通が必要。

利便性を高めるためにICカードをやろうとしている。

当面は、共通のカードを作る、それによって2次交通をしっかりとやることに取り組みたい。

(三木 須坂市長)

2次交通は重要な観点。屋代線の代替バスを3市で運行しているが、市だけでなく、広域の交通や連携を考えることが必要。

15年後を見据えたビジョンだが、大事なことは今からやっていくべき。

前回のビジョンも実現できるかということもあったが、極め細かく対応した。必要なものはやらなければならない。

村山橋と小布施橋の間に千曲橋(仮称)を作ることをビジョンに入れて

欲しい。

維持が大事というが、歩道整備などを住民は求めている。ビジョンでそれを発信し、公共工事は悪いというイメージを払拭したい。

国や県の技術的ノウハウを生かす政策を書き込んで欲しい。

市町村から国を変えるようにして欲しい。

(委員)

バスについてはどうか。

(三木 須坂市長)

新たに運行を始める時が難しい。

(委員)

どこが問題なのか。

広域連携ができないということか。

(三木 須坂市長)

市単独で運行するのは難しく、連携したいが調整機能がない。単独の市町村を対象とした制度はあるが、複数市町村を対象とした制度がない。

(オブザーバー)

地域公共交通確保維持改善事業の調査事業は、1市町村だけでなく、複数市町村で連携できる。

(近藤 千曲市長)

[\(提出資料のとおりご説明をいただく\)](#)

(山村 坂城町長)

坂城町では、豊かな自然を守り工業を中心にした町で、モノづくりを中心に全ての人が輝く町を目指している。町のスマートコミュニティ構想がある。エネルギーのあり方も研究している。人口16千人のコンパクトな町に250の工場・事業所があるがエネルギーをコントロールしようとしている。

今までエネルギーは無尽蔵だったが、これからは無理。それを念頭においた計画づくりが必要。

坂城町は、上田地域、長野地域の結節点。産業の活性化と交通網の整備

が必要。

地域交通は、しなの鉄道があり、テクノ坂城駅が出来て良く利用されている。交通弱者のために巡回バスを運行している。しなの鉄道とタクシー以外に公共交通で町外に出る手段がなく、今年から上田市への巡回バスの運行をはじめ、利便性を向上させた。

今後の交通網として、幹線道路の連続性確保を早期に実現していくことが必要。道路整備により、町内のタテヨコの交通網が完成し、ビジネスや防災に対応できる。

北陸新幹線が延伸されることにより、長野駅が通過点とならないようにしていく必要がある。

(伊藤 小川村長)

県の道路の有料区間の無料化の検討をお願いしたい。村民は、葬儀も長野市内でやるし、白馬村も長野市まで買い物に出てくる。

道路整備がされれば効果はある。村内はバス等を運行している。

(畔上 小布施町役場地域整備グループリーダー)

南北に幹線として国道 403 号があるが、行楽期は渋滞が起きる。長野市と連携して通過車両の排除を考えている。

人口減少で、自動車がどれだけ増えるか。それを見据えた道路整備、道路機能の見直しが必要。

人づくりのための道づくりが必要と考える。

(久保田 高山村長)

村は 85%が山林で中山間地域。交通は、須坂市からの幹線バスがあるが、赤字路線。複数市町村で連携すると国、県の補助があり、村の負担がなくてありがたい。

村内の巡回バスを運行している。スキー場あるので、冬期はシャトルバスを運行して対応。

国立公園内は、多くの人を訪れるが渋滞が起きる。観光と交通の関係を考えている。これからの交通は大変だと考えているが、中山間地域は様々な役割を果たしている。

これまでのビジョンは大動脈を示したが、これからは、末端の農村の生活を支えることが日本を変えるものと、とらえて欲しい。

低公害車の導入や交通規制など、環境に優しい交通、自然にやさしい交通を考えて欲しい。

全国で、通学路での事故が発生しているが、地域で安心・安全に暮らすために生活道路の推進が必要。生活を変えるための交通が長野県のために必要。

(相澤 飯綱町長)

当町の公共交通は、鉄道とバスが運行されていて、高校生や高齢者など多くの方が利用しており、地域住民の日常生活に欠かすことができない。

取組については、廃止路線代替バス運行から通勤通学は定時定路線、日中はデマンド方式で運行する「i(アイ)バス」に運行を移行し、実施している。現在も路線の増発やJR利用との連携を図りながら運営している。

平成22年度は、「i(アイ)バス」に3,521万円、エリア定期券高校生補助として283千円をそれぞれ補助している。また、移動制約者のための移動支援施策として、社協、NPO法人SUNにより福祉有償運送を実施しており、平成22年度は社協で1,871件、SUNで274件の利用があった。

課題は、バス、鉄道との接続で、より満足度が高いものへと目指したい。

住民ニーズをくみ取ったより満足度が高いものへと目指したい。

鉄道については、住民組織を立ち上げ、実態に応じた利用促進等の取組をしていきたい。

しなの鉄道により並行在来線が運行されるが、県には、安定的な経営のための支援をお願いしたい。町も利用促進を図りたい。

町から20分以内のところに3つのインターチェンジがあるが、道路に狭隘な部分があるので改良をお願いしたい。

国道18号は土砂崩落対策や深沢地区の除雪帯設置をお願いしたい。新幹線については、飯山駅を活用して他の地域と連携して集客したい。

(三木 須坂市長)

交通の国の支援制度の名称は、「地域公共交通確保維持改善事業」でよいと思うが、実際これから運行計画を作るような事業に対しても、調査研究の支援の対象となるものなのか。

(オブザーバー)

この制度の中では、色々な支援の取組がある中で、交通ネットワーク計画を沿線の市町村と一緒に作ろうとした場合、協議会などを立ち上げて行う事業の一つが、調査事業である。県内の他の市町村も行って

いる事例もあるので、担当者に個別にご相談いただきたい。

(委員)

長野新幹線の延伸で、並行在来線は、しなの鉄道が運行するのか。
地元のデマンドとかの今後の方向性をどう考えるか。小布施町と飯綱町
に伺いたい。

(相澤 飯綱町長)

並行在来線は、しなの鉄道で運行すると聞いている。鉄道とバスの接続
や利便性の向上を図り、交通弱者のサポートや、お互いの交通機関の利
用促進を探っていきたい。

(畔上 小布施町役場地域整備グループリーダー)

長野電鉄の本線があり、協議会を立ち上げ、利用促進を検討し、利用客
を増やしたい。スマートICによる自家用車が多い。

(委員)

私は、生活交通の専門で、地域の生活交通からビジョンの策定に取り組
みたい。2次交通は大事だと考えている。生活に密着し、幹線に接続し
た生活交通で、車に全て頼るのではない、ということは大事。

長野市の取組は、全国的に評価されると考えている。

ネットワークとして機能させるためには、結節点等、何が必要かを考え
る。

2次交通の事業として成り立つものは少ない。15年後も続けていくた
めに、何が必要かを考えることが必要。

(鷲沢 長野市長)

運輸支局の認可権も変わるだろうと考えている。旧大岡村は、小さな軽
自動車での運行が認められていた。合併したら他の地域での運行は困る
という話になった。全市に広げようとしたが、だめだった。

安くて個の需要に応えることがこれから増える。

長野市 32 の行政区において、それぞれ事情が異なる。交通も全体とし
て考えるのは意味がない。個の問題でないと、上手くいかない。

スポーツを中心とした街づくりを考えているが、子供の練習場所までの
足の確保が困る。毎日練習するのに親が送迎しているが、それでは強く
ならない。他のサービスと混在した、バスを運行させないとだめ。

バス 100 台を市内で勝手に動かすこと考えているが、既存のバス業者が困ることになる。整合性を図ることが必要と考えている。

(山村 坂城町長)

坂城町は、長野広域と上田広域に属する町。「町内の巡回バスは隣町まで行かないか」と言ったら、出来ないと言われたが、今では出来るようになった。

首長の発言をどう活かすのか。今後の進め方はどうなっているのか。

(事務局)

素案が出来たところで意見を聞く予定である。

(鷺沢 長野市長)

組織内部の問題もあるかもしれないが、今日の意見交換会で 15 年後の話をするとは聞いていない。

(三木 須坂市長)

私も、意見交換会の目的を初めて知った。鷺沢市長の言うように、個の対応と全体の対応を分けて考えることが必要。

須坂市はボランティアが盛んで、自分達で、送迎する場合、色々な制約がある。特に有償運送は厳しいと聞いている。

(委員)

自動車運送とは何かということだが、昔から、安全性、経済性、既存の業者を守るという原則がある。

大岡村が良くても、長野市全体に導入するのはだめだという行政の考えがあった。人口増の時は良かったが、人口減少での状況は、国も戸惑っている。発想が右肩下がりにならないとだめ。

怖いのは、行政責任のこと。すみませんとも黙認とも言えない。行政責任でなく、保険制度を活用する考えもある。

(三木 須坂市長)

保険は我々も検討している。何がニーズか考えることが大事。

(委員)

長野以北については、広域観光圏を考えているようだが、どのように発

展させるかが重要。既存の施設と交通の位置づけは。

(鷺沢 長野市長)

2次交通どうするかは考えているが、金の問題がある。新幹線で来た人を途中でどう降ろすか。バスを基本にタクシーの活用を考えていく。

各企業が、通勤用に持っているバスを運送に使えないか。運送は、もっと自由になってもよい。

事業者が持たないというが、程度の問題。

(委員)

安全管理を問わないといけないことがある。事故が起きれば行政責任も問題がある。

(鷺沢 長野市長)

安全管理と言うが、それが出来ていれば、ツアーバスの問題はない。

(委員)

長野新幹線は、坂城町にとってインパクトはあったか。

(山村 坂城町長)

具体的な数字は今示せないが、インパクトは確かにある。それは経済効果、人の流動、産業化ということでもインパクトはある。

(委員)

千曲新駅について伺いたい。

(近藤 千曲市長)

誘致主体は県でお願いしたい。マクロの世界で考えていただけるとありがたい。